

Alcon® A Novartis
Division

うるおって、心地いい 快適ワンデーの定番®

形状をしっかりキープし、装着しやすく外れにくい。
ワンデータイプなので毎日のケアが不要！

※装着感には個人差があります。

DAILIES®
AquaComfort PLUS®
デイリーズ® アクアコンフォートプラス®

1日使い捨てコンタクトレンズ



コンタクト
初心者にも
おススメ！

販売名：フォーカス® デイリーズ®
承認番号：21000BZY00068000 日本アルコン株式会社

さらに詳しい情報はこちら デイリーズ

コンタクトレンズは高度管理医療機器です。購入の際は眼科医の処方・指導を受けてからお求めください。
●装着時間を正しく守ること ●取り扱い方法を正しく守ること ●定期検査は必ず受けること ●少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けること



千葉ジェッツふなばし #31

原 修太 SG/SF

Text by Futoshi Mikami
Photo by Munehiko Yoshida

コンタクトレンズに 出合わなければ プロになれていなかった

…かもしれない

入団2年目ながら、千葉ジェッツのスタメンとしてチームの勝利に貢献する原修太選手。187センチとプロの世界では頭抜けて大きいわけではないが、原選手をプロの世界に誘ったのは、コーチをクリアに見渡す「視力」だった。

中学3年生くらいから徐々に黒板の文字が見えにくくなってきた原選手だが「バスケットでは見えづらい状態に慣れていたので、気にしていなかったんです」と当時を振り返る。マンツーマンで守るときも、背番号こそはつきりと思えていなかったものの、試合前に必ず相手の風貌をチェックすることで大きな問題はなかったそうだ。しかし転機は高校2年生のときに訪れる。

が残っていますね」

当然プレーにもよい影響をもたらしてくれた。マークすべき相手をしっかりと捉えることはもちろんのこと、「バスケットは目で見て判断するスポーツですから、さまざまな判断ができるようになりました。あのときコンタクトレンズに出合わなければ、僕はプロになれていなかったかもしれません」

視力だけではない。バスケットに求められる視野も広く確保できるようになった。「着けていないころは相手の正面1メートルくらいに立っていても、相手の顔がボヤけていたくらいだったので、周りが見えるなんて状態にはなかったですね。「視野が狭い」なんていうレベルの話ではなかったと思います。それによってバスケット選手にとっては致命的だと思うし、今思えば、コンタクトレンズなしでよくプレーしていたなっと思ってますね」

自分から積極的に情報を集めるタイプではないという原選手にとって、千葉ジェッツの先輩たちはバスケットだけでなく、コンタクトレンズについても頼りになる存在だ。「最近だと荒尾(岳)さんからコンタクトにはいろんな種類があると聞きました。それまではあまり関心もなかったんですけど、プロとなった今ではできるだけ目に負担のかからないものを選びたいし、よりよいものを装着したいですね」。金銭的に苦しい大学時代には2週間タイプ

のものを使っていたこともある。「もちろん洗浄はしていましたが、どうしても2週間タイプのものでは多少の汚れが残ってしまうんですね。千葉に入ってから、トレーナーさんの勧めもあって、ワンデータイプのものに戻りました」。

中高生プレーヤーのなかにも視力の悪さがプレーの妨げになっている選手がいるかもしれない。「今、ゴーグルをつけてプレーしている人にもコンタクトレンズはオススメです。視野がより広がると思っています。着けたことのない人はどうしても怖いイメージがあると思うんです。しかもあまり見えなくても、今までそれでやれているから必要ないと思っているかもしれません。でも僕も友人から「世界が変わるよ」と言われて、着けてみたら本当にプレー中の視野が広がったんです。今まで見えていなかったところまで見えるように感じたので、ちょっと遠くが見えにくくなっている中高生プレーヤーにはぜひ着けてもらいたいですね」

バスケット選手は味方や相手のポジショニング、コート上のスペースなどさまざまなところの目を向け、正しい判断が求められる。コンタクトレンズは選手のパフォーマンスを向上させる「最強のパートナー」と言えるかもしれない。